WASON
HQ
1104
J74+

遞信省認可

明治二十年四月二日刊行

女學雜誌

毎土曜日發兌
一册正價五錢
府內無郵送稅

第五十八號

東京 女學雜誌社

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

The Women's Magazine.

(JOGAKU ZASSHI.)

No. 58. April, 2nd 1887.

第五拾八號

EDITORIAL:—Prohibition of the Professional Prostitutes.

LEADING ARTICLES:—School Girls, by Prof. N. Hodsumi; Christianity and Position of Woman, by Rev. Mr. K. Ibuka. M. A.

MISCELLANIES:—The Relation between Novels and Theatrical Plays, by Prof. K. Konakamura.

CRITICAL NOTICE:—"Katei kyo-iku" (Family Education) by Messrs T. Koike and H. Takahashi; "Sei-yô Sho-gi jijyo" (Prostitutes in the Western Countries), translated by H. Yokoyama.

BIOGRAPHIES:—Mary. C. Levitt, by Miss Willard (translated).

GENERAL NEWS.

ADVERTISEMENTS.

●社說　妓樓全廢せざる可らず

●論說　穂積陳重君演說（女學生に告ぐ）筆記○井深梶之助君演說（基督教と婦人の地位）筆記

●叢話　小中村淸矩君述演劇と小說との關係

●批評　小池民次高橋秀太兩氏著家庭教育の評○横山訒氏譯西洋娼妓事情の評

●佳傳　レビット夫人の傳

●新報　二十件　●廣告

●珊瑚の珠（第二十七回）

○東叡山黒門より仁王門までの並木の櫻の木の下に花見衆なし松山のうち淸水のうしろに幕はしらかして見る人多し幕の多き時は三百餘あり少き時は二百あまり此外につれだちたる女房の上着の小袖男の羽織を辨當からげたる細引にとほして櫻の木に結ひつけて假の幕にして毛氈花むしろ引て酒のむあり本町通り町を始め有徳なるも左なきも町かたにて女房娘正月の小袖と云ふは仕立てず花見小袖とて成ほど手をこめ結構にだてなる物ずきに仕立たるを着て出るあり花より尚ほ見事なり花の頃は空くもりてをぼろに晝過る比より雨ふる然れども傘さもさゝず善き小袖をすきとぬらして歸るを遊山にも又手柄にもしたり（紫一本）

○史燈の著者ジョンロルド云く婦人大事を爲さずとは何者の言ぞ英國にてサッカレー以後の大小說家は女なりアダムスミス以后經濟學記者の尤も著名なる者は女なり天文學者中の尤も著名なるものも亦女なり殊に米國に於て彼のアンクルトムスカビンの如く良氣配を得たるの小說嘗てあるなし

○夫婦の別と云ふ道は新枕のあけの日起出たらん時の心を忘れぬを云ふとか人のいひけり（花月草紙）

Digitized by Google

Original from CORNELL UNIVERSITY

女學雜誌第五拾八號　明治廿年四月二日

●社説

○妓樓全廢せざる可らず

妓樓を廢し娼妓を放ち梅毒檢査條例に類する諸種の法例を全く除んが爲には吾等夙に自ら之を主張せりと雖ども此事元來女流に關れる所の者なるが故に殊に女流の盡力を要めざるを得ず女流が之に盡力するは其權利に於て當に然るべき者なるのみか實に其當に務むべきの義務なり女流もしかの法例に從ひて官許を得たる娼妓が男子の野蠻なる情慾を滿さんが爲に此世に存するを見て敢て之に反對せず敢て之を憤らざらんにハ女流の恥辱之に過る者なからん故に吾等は無論此事に力を盡して止まざるべしと雖も事理に於て常に第二の位地に立ち之を勉むるに留らざるを得ず世上の貴婦人諸子先づ尤も之が任に當らざる可らざる也」とは今を距る十數年の昔し十五ケ國より派遣したる有志の貴婦人紳士等五百餘人スヰツルランドのゼ子バに相會して万國廢娼會議を開きたる際會頭スタンスフヘルドが慨然として演述したる所の者也吾人が本誌の上に於て屢々此事を論ずるは實に亦此と同樣の志あるが故也之を以て吾人ハ曩に三度廢娼の事を論じて先吾等が姉妹の娼妓たることを世に訴へ(本誌第九號社説)次に時事新報記者の娼妓論を駁し(本誌第十號社説)倘娼妓を世に公許するの決果を説ひて(本誌第三十五號社説)もつて畧ぼ吾人の意見を申述べたり蓋し世に娼妓あるもの公に存して男子の玩弄物と相成らん限りは他に於て何如程に女權の擴張に盡力すとも其勞は遂に無効に屬すべしと思ふが故なり。抑我國に於て從來女に多く讀書を習はせす其智惠學文の左程に高からざるを德とし萬事たゞ／＼扣目にさせて專ら男子の機嫌を取ことをのみ務めさせたるのもは女子は男子の道具とならんが爲に世に生れ來れりと見做したるに由れり故に當今に於て女權を張らんとせバ先づ男子の心に固着せる此の念を洗ひ去り之をして女流を優待するの氣象を起さしむるを第一とすべし女子ハ男子を助けて共與に世間内外の事に盡力すべきものなりと云へることをよく／＼男子の心に染込ませて婦人を玩弄物の如く取扱ハんとする風習を全く除き去ること甚だ緊要なり然るに今ま公の法例を以て明に世に娼妓あるものを存することを許すのみか妓樓の規則甚だ行屆きて遊客に不安心の思なからしめ娼妓に梅毒あるや無きやを撿査して之を玩ぶ男子の衛生を慮かり萬事の保護

甚だ綿密にあらんには勢ひ茲に遊ぶものを多くするの理なり然るに此の遊び人は必竟獸にも似たる其情慾を滿さんが爲に貴重なる女流の身躰を弄ぶものなれば固より人にして人にあらず人權の何物たるを知らざる野蠻人か若くハ牛馬にも均しかるべき卑劣の輩なれば大凡そ事理を辨へたる眞正の人間にハ決して此の遊客となるべき程の者はあらざるべしとハ思へども既に公然一種の女流を男子の慰み物として取扱ふべきやう公許ある以上ハ之に遊ぶヿを以て左程の悪事とも思はざるものもあらん其上茲に遊ぶ所のかの數多の人非人のとハ言はずもあれ之を見聞する所の人及び之あるヿを承知する所の人々迄勢ひすでに男女不同等の念を心中に起して女子を男子の弄び物とするを怪しまざるの氣風を養はんハ甚だ明白にて之が爲に女權の伸張を妨ぐるヿハ其大なるべし。加ふるに人間はもと甚だ勝手氣儘なるものなれば人を敬し人を尊みて所云る他の人權なるものを侵さゞらんと心得るやうの人物は上流の社會に於てだも左程ど多からざるを常とす大抵ハ他人を已の隨意に追ひ使ふヿを愉快とするの性質あるものなれば日本男子の如く從來多年の間だ女子を己が氣儘に取扱ひたるものをして飜つて妻を己と同等の貴婦人と見做し朝夕之を敬愛して彼が權利を侵さゞるやうに心得させんとするハ中々の難事にして容易の業にあらず此際女子が自ら人品を高ふして自らに男子の敬愛を蒙るやうに行なハんヿとの必要なるハ勿論社會万般の事をして自然に此新氣風を養はするやうに取扱はざるべからざるに當り都の四方には圓内外の金を投じて男子の心の儘となるべき一種の女子あり東海道を旅するにも九州に渡るにも甚しきは金刀比羅に參り成田に行くの途中にても何處にも皆な男子の隨意に取扱はるゝ官許の女子ありと云はゞ天性人をば自由にして己のみ獨尊ならんとする氣象ある上に女權擴張など云ひて平生快らず思ふ念の多少存してあらん身にはいよ〳〵其妻を措て娼妓を弄び以て己が勝手氣儘の卑劣心を滿足するもの多からざるを得ず盖し妻妾を置ものが妻よりも妾を愛するハ妾が己の心の儘となるを以ての故なり故に今ま世に娼妓あるの傍らに女權の擴張を主張せば之れ男子を驅て妓樓に流連せしめ夫妻の間をいよ〳〵割て妻と娼妓との競爭を行はしむるものならん。然るに一方には妓樓高く立て茲に墮落したる一種の女流數多あるヿを公認し乍ら貴婦人ハ男子と共に踏舞し乘馬せされば同等の見榮宜しからずと思ひ一方には媚を呈して綿の如く男子の慾に應ずる娼妓あるヿを

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

許し乍ら夫は婦を優待して事々に之を敬愛し之と同行同伴して出入起居の禮を盡すべしと論ずるに至つては殆んど愚人の所置と考へざるを得ず今の女權伸張論者たるもの須らく此理を味ふべき也

事の理由如此なるが故に大凡そ世の先覺者を以て任ずるものハたとひ妓樓の全廢に不同意を表して娼妓容易に除きがたしと思ふ中にも切てハ妓樓の甚だ卑しむべきを論じ娼妓の决して近く可らざるを敎へて口に筆に社會の人心を此の境界より立離らすることを說かざる可らず然るに數年前新聞紙の裏面に高提灯の圖を掲げて遊廓に案內すべき廣告文を公にしたる事を初として雜報に社說に不淸潔の文字を見ること少しとせず某公云々の遊に一夜此々の愉快ありし由を最も風流めきたる文字に書付て得意とするものあれば讀者も亦た之を喜びて一時の談柄とするハ毎々實見する所なるに甚しきハ娼妓を以て世の道德を維持するの功德あるものとし之を親鸞日蓮の輩に比して得意なるものあるに至てハ吾人我日本を撫して慨歎するの念を禁ずるあたハざる也。然れども私に顧て之を思へば如此き論者も亦た我國を憂ふるの士にして特に女權の伸張に不同意なきの人々ならん必竟此樣の思想を言論の間に現すものハ今の妓樓と娼妓とを何如んとも爲すあたハざるを思ふが故にして目的とする所ハ遂に之を除去せんと欲するにありと認めざるを得ず左れば或者は妓樓の制を改良して之を更に自由にすべき方法を論じ或者は娼妓の揚代を更に廉にして以て衞生の進歩を圖るべしと云ふなるべし果して然らんには論者が希望するの目的を達して以て社會の平和と道德とを兩ら併せ得るの工風は只速に妓樓を全廢して娼妓の官許を止るにあるの所以を說明せば此流の人々も亦喜んで吾人の議に同意を表する筈あるに付き次に數多の實例を示して妓樓全廢論の社會に必要ある理由を明示すべし

● 論說

○女學生に告ぐ

穗積陳重述

左は大學敎授穗積君が曩に高等女學校に於て演述ありたるを宇都宮五郎氏が筆記ありたるもの也今ま請ひ得て玆に掲載し讀者に示す

女學生諸君私は箕作君の依囑により、今日貴孃方に談話を致す順番に當りました。依て私は方今我邦の女學生たらん者ハ美麗と實用即ち經濟と美術とを程よく調和し、其割合を誤ら

ざるの心懸が肝要じやと云ふ事をお話し申さふと思ひまする扨此敎塲のストーブの中には石炭がポヤ〳〵と燃へて居ます又貴婦人方の指環にはダイヤモンドがキラ〳〵輝いて居ります。扨其石炭と申す品物は、風致もなく、又雅趣もなき石ころの如きものにて、至つて見苦しき品物で御座います、或る田舍者が、これを黒ん坊のシャボンかと問ひましたも強ち無理ならぬ事と思はれます。又彼のダイヤモンドと申す寶石は誠に美くしき品物にて、或は夜會の電氣燈に五色の光彩を放ち、或は朝賀の貴婦人の禮服に映じ昔しの支那人が十五城に換へんと云ひしも實に尤の事と思はれる位で御座ります石炭とダイヤモンドは、其外面より觀る時は箇程に違ふ者にて、俚諺に云ふお月樣と鼈とは此事でありましやう。然し乍ら化學者に聞て見ますると此二品は外見こそ箇程な相違なれ、其實質は同じ物にて、兩つながら炭素とか申す元素より成立つ者じやと申します。

依て私が考へまするにダイヤモンドは實に寶石の王とも稱すべき者にて、裝飾に取りては之に超す者はありますまい。又石炭は蒸滊船、蒸滊車、瓦斯燈を始めとし、機械の運轉、家屋の溫暖、其他百般の有益の事業にては一日も缺く可らざる者にして、鑛物で文明の先導者となりたる物の中にては鉄と肩を竝べ、一と云つて二に下らぬ品物なりと思はれます。然らば、同じ炭素より出來たるダイヤモンドは美麗の名代人にして、石炭は實用の名代人とも申すべき者でありましやう。私は今日文明の敎育を受ける婦人方は、右の炭素の如くならん事を希望いたします。尤も私はあなた方を眞つ黑に仕たいと望むのではありません。終りまで御聞に成りますと其意味が判然といたします。

方今我邦にて、婦女の位地の進歩を圖りまする者共に、二ツの流義があります其一派は專ら婦女天賦の美質を磨き婦人の風采嗜好を高尚にする事を勉むる流義にして、此流義によれば詩歌文章は論を竢たずピヤノやバヨリンや入ては英佛獨乙の國語、出ては蹈舞晩餐音樂會、セント、ジエームスの朝庭に出るも耻かしからず、巴里の夜會に臨むも時めくが如き婦人が生ずるに至るやも圖られません。

又一方にありては專ら實用を尙ひ、婦人は是れ迄の樣な無智無用の人間では仕方が無ひから、何んでも婦人には直接に世の中の利益となる事を敎へ込み、有用なる人間にせざる可らすとし、裁縫も敎ゆべし料理法も知らねば成らぬ、毛糸の編

ものも達者に成るべしと、總て婦人天賦の特性を利用して之を實益に充んとする流義がありまする第一派は即ち美術主義の教育を主とし、外形より入りて漸〻に女子の智識を進めんとする者にして之をダイヤモンド派とも稱すべきものです。又第二派は即ち實利主義の教育を主とし、女子に實業を授け、之により漸く其位地を進めんとする者にして、之を石炭派とも云ふべき者です。私は今日の女學生たる者は、右の一派にのみ偏して敢て他を顧みざるは甚だ宜しくなき事にて、其二者をうまく調合するが必要じやと思ひます。なぜとなせば、美術主義の教育により婦人を社會の飾り物の如く看做し、夜會踏舞場に曝し置く計りでも面白くありませず。又實利主義に偏し婦人を男子の使役物の如く心得て、臺所に追込み置く計りでも隨分困りまする。然らば美と用との割合はどれ程なれば宜しきやと申せば、是は其人々の身分によりて幾分か調合加減を斟酌せねばなりません。なれ共概して之を云へは「美は多きを要せず用は多からざる可らず」と申し度ふ御座ります。彼のダイヤモンドを御覽なさい。若しダイヤモンドが世の中に澤山あつて、學校の歸り道にころ〳〵と轉び居る樣ならば、とても今の樣に珍重さるゝ氣遣ひはありません。又石炭が亞弗利加の河の中にて時々豆粒程のを看出す樣ではとても用には立ちません。左れば、一般に申せば實用の心得は美術の心得よりは割合多くなくては叶はぬ事と思はれます。

右は一般の規則に致しまして、扨前にも申せし如く美と用との二元素は人々の身分、若しくは其貧富によりて、多少其割合を違へねば成りませぬ。例へは華族女學校の如き所にては、實用教育の法固より忽にす可らずと雖も、又美術主義の教育は餘程大切にて、隨分重なる部分を占めても宜しき事と思われます。又此學校の隣の女子職業學校の如きは、美術主義忘る可らずと雖も、素より實用を主とする學校であります。

扨此東京高等女學校の學生たるあなた方は如何なる身分のお方が多いかと申しますれば、中には例外もありますれ共、先づ中等社會即ちミッドル、クラスとて、一國の腦髓とも申し、最も大切なる人民の部分に屬する人が十の八九であります。なぜ中等社會は最も勢力ある人民かと申しますと、一國の人民のなか程に立ち智識と財産を兼ねて居る者は、此種類の人民に限るからで御坐います。上等社會は財産はあります、又智識も隨分ある者もありますけれ共中等社會程に智識と財産が釣合つては居ませぬ。又下等社會は通常智識も財産も乏

しくあります。そこで、先づ文明諸國では中等社會に最も勢力が強いと申します。扨我邦にて我々如き中等社會ハ封建時代の武士の種が多數を占めて居りますから、西洋諸國の中等社會とは少し様子が違ふ所があります。西洋諸國にて中等社會の財産と智識との割合と、我邦の中等社會の智識と財産との釣合を較べて見まするると、我邦の中等社會ハ智識の割合にハ財産が少なからふと思ひます。我々の位はお公家様の様に、身代よりは遙か高ふ御座います。然らば此學校の品位と云ひ、我々共の身分と云ひ、前に申す美麗部分も實用部分も兼ね修めねばなりませぬ事と思はれます。別して只今も申す通りの我邦中等社會の有様ですから、今日西洋の教育風化を我邦に入れ様とすれば、經濟の方には最も注意しなければ成らぬ事と思ひます。先日私の友達の一人が、西洋風を本邦の婦人社會に入れるには「チープ、エンド、レファインド」(お安くて上品)と云ふ事を守るべしと申されましたチョット勝手な注文の様に聞へまするけれ共、其中に無限の妙味を含み甚だ適切なる言辭と思はれます。

前にも申す如く、上等社會の炭素ハダイヤモンドと化する部分頗る大切でありますし、又下等社會の炭素ハ石炭となる部分最も大切です中等社會の婦人は双方共に要する位地に立つて居ります、若し我々にして教育の装飾分にのみ偏ますれば、或は和歌を詠ずれば小町式部などにも優り、力をもいれずして天地を動かし目に見へぬ鬼神をもあはれと思はせ、音樂を奏すれば蟬丸、モザルト、ハンデル、メンデルゾーンの如く、梁の塵を動かし淵の魚を躍らし、繪を書けば西洋のラフェール、日本の雪舟、金岡を欺き茶、生花、起居、擧動、言語、應對、髪の結様、衣物の着様、何から何迄實に一點の打ち所もなき、立派なレデーが出來るかも知れません。然し乍ら若し此婦人にして一家の經濟、衞生、子供の養生、教育法を知らず、親子兄弟夫婦等の道に暗き時は必竟美麗で恐ろしくない怪物としか看られません如何に風雅たる心にて春のあした、向島の櫻を雲かと疑ひ、秋の夕べ、瀧の川の紅葉を錦と詠むればとて、文久錢をお雛様の刀の鍔と見違へる様では困ります。昔し羅馬のオーガスタス帝フランク王國のシャレマン大王等は皇后皇女等に紡績裁縫を習はせ近くは英國の今上ビクトリヤ女皇ハ皇女に料理法を習はせ玉ひしと語り傳へます。古今帝王すら此の如くであります我々が實用部分を力めなければならぬハ勿論の事と思はれます。

Digitized by Google　　Original from CORNELL UNIVERSITY

又前に反し實益部分計りで、女子に尊ぶべき美麗の元素は少しも顧みぬと云ふ流儀も困ります。婦人には編物だとか、料理法だとか、裁縫だとか計りを教へ、夫れで滿足し居る連中は少しも婦人の温良美麗の元素を發達せしむるを勉めません。私は實業は勿論大切と思ひますし、且つ婦女子の實業は其位地を進むる一助とは信じまする、けれ共中等社會の者が是れ計に偏重しては如何であらふかと疑ひます。必竟此方に計り偏しますると、謂はゆる卑近の實利主義に陷ります。

是迄陳べました事を譬へて申しますれば、美麗と實用は丁度エジプトの尖塔の樣なる物で、其頂上が美の極點で其基底が用の極點の樣なものです。美は高く少く、高等社會に需用多くして下等社會に需用少なし、用は多く廣く上等社會と雖も是れなくては立つ能はぬものであります、中等社會は尖塔の中間にありますから美用共に採らねば成らず且つ用の分量は尖塔の下底の方にありますから、割合多くなくては叶ひますまい。扨右の如く美と用との比例を定め置きまして、是より右の考へを我々日常の心得方に適用して見ましやう。（未完）

To make anything useful or beautiful,
the individual must be submitted to the Universal Mind.

Emerson.

○東京婦人矯風會大會演說錄

井深梶之助君演說（基督教と婦人の地位）筆記（一）

婦人矯風會の目的は社會の弊風を矯め道德を修め飲酒喫煙を禁し以て婦人の品位を開進するにありと規則書に見えますが凡て社會の弊風を改良することと取分け婦人の地位を高くすることにはキリスト教は最と親密な關係ある者で御座ります。依て私はこれよりキリスト教と婦人の地位との關係に就て聊か考を述べやうと存じます。

さて紀元前およそ七百年頃イザヤといふ預言者がキリストの御降臨を預言した語に「諸の谷は埋められ諸の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易くせられ人々みな神の救をみん」とあり又キリストも此預言者の語を引て我は貧き者に福音を宣傳へ心の傷る者を醫し壓制らるゝ者を放たんために世に遣されたりと仰せられましたが千八百年以來の歷史をみて此言の決して僞でないことが知れます。元來キリスト教は正理自由の友で無理壓制の敵で御座ります。故にキリスト教は何處へ往ても曲たるは直くし嶮しきは易くし壓制さるゝ者は之を放ち凡て世の不釣合不平均を取除き人に自由幸福を與る者で

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

御座ります。恐くは昔日より西洋諸國において行はれた種々様々の社會改良にして直接か間接にキリスト敎の力に藉らぬものは御座りますまい。彼のジヨンハワルドをして歐羅巴諸國の監獄改良のために甘じて一身を犧牲になさしめた者は何で御座りますか。「我が飢し時に我に食はせ我が渇し時我に飲せ旅せし時我を宿らせ裸なりし時我に衣せ病し時我を見まい獄にありし時我に來ればなり、此兄弟の最微者の一人に行へるは即ち我に行しなりと敎へ玉ふたイエスキリストの愛では御座りませんか。又彼のウヰルボルーフオールスやクラルクソンをして奴隷廢止のために千辛萬苦を甘ぜしめた者は何で御座りますか。イエスキリストに在ては或はユダヤ人或は異邦人或は自主なる者或は奴隷たる者の差別なし皆兄弟たりとの聖書の敎では御座りませんか。殊に婦人の地位を高くしたのは全くキリスト敎の力で御座ります(喝采)若し之を疑ふものがあればキリスト降世前の世界に於てギリシヤやローマが文物隆盛を極めた時の婦人の有樣とキリスト敎文明國の婦人の有樣を比較て御覽なさい。今日の米國や英國の婦人の有樣と支那印度や土耳古の婦人の有樣を比較て御覽なさい。實にキリスト敎國とキリスト敎を奉ぜぬ國の最大なる差別は何かと問はゞ婦人の地位有樣と答へても宜からうと存じます(喝采)。

然らば目下我邦の社會改良を謀り殊に婦人に正當の地位と眞正の幸福を與へんと企る者のためにはキリスト敎は之に如何なる關係を有する者であるかと尋るは最も肝要な問題で御座ります。然しながら是は一大問題で中々一席の演說に論盡せる事では御座りません。只私は是よりその二三の要點を擧て婦人矯風會員方の御參考に供へやうと存じます。

我々は固より婦人の地位を進るにはキリスト敎の力に依らなければならぬ事を堅く信ずる者で御座ります。又近來は敎外の先生等にも社會を改良するには是非ともキリスト敎の力を借るより外は致方がないと論ずる人が御座りますが何故にキリスト敎には此力があるので御座りますか。キリスト敎にはドウいふ眞理があつて其改革が出來るので御座りますか。私の考ではキリスト敎に此力がある譯は先づ

第一に一夫一婦の敎で御座ります。即ち一人の夫にして一人以上の妻を有ことを許さず妾を蓄るごとき事は決して許さぬ事で御座ります(喝采)。今日我邦の社會に於て改良を加ふべきことは色々あつて既に規則書にも見えた通り飲酒喫煙を禁

ずるのもまた大事な改良で御座りませう。酒の社會を害することは實に夥敷とて御座りませう。煙草の害もまた隨分少からざる事で御座りませう。然しながら私の考には禁酒禁煙は抑も末でまだその上に弊害の根本たる者があらうと存じます。若しも世の弊風を改めやうとならば先づその根本から改めてかゝらなければなりません。もしその根本を取除けばろの枝に結んだ様々の悪弊は自ら消滅する道理で御座ります。さてその根本たる弊害とは何であるかとなれば一夫多妻或は蓄妾の風が即ちその根本で御座ります(喝采)なぜなれば若し一夫一婦の教が行はれなければ男女の關係が宜に適ません。男女の關係が宜に適はなければ決して眞の文明社會を見ることは出來ません。なぜなれば夫婦の關係は人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が宜に適はなければ親子の間柄も宜に適ひませんし親子の間柄が宜に適はなければ一家が治りません。然し一家が治らなければ家族が集て出來た社會が治まらう筈は御座りません。その故に今社會を改良するに最も必要なことは一夫一婦の教の普く行はるゝことで御座ますがキリスト教は即ち此教を主張する者で一婦多妻は貴賤貧富の差別なく誰でも彼でも平等に之を嚴禁いたします(喝采)ソウして此が即ちキリスト教の儒道や佛道と大に違ふ所の一で又社會を改良する勢力ある所以でござります。然し左樣申せば一夫一婦の教は何もキリスト教に限ることではない。儒道や佛道の教は兎も角も實際一夫一婦は即ち古より我が日本國の風で妾を持つ者は眞の万人に一人か千人に一人に過ないといふ人があるかも知れません。成程ソレニ違ありませんが今若し日本國中の人を上中下の三等に區別して其中孰れに妾を蓄る者が最も多數であるかと尋ねたら如何で御座ませうか。上等にも中等にも矢張萬人に一人の割合だといふことが出來ませうか。上へ往けば往くほど其割合が多くあるではありませんか(謹聽謹聽)。シテ見れば今の一夫一婦の風は此れが眞理だから守るといふ譯ではなく實は止を得ざるに出たことゝ申さなければなりません。若し今、日本中の人に各二三人の妾を蓄ふる力があつたらドウで御座りませう其結果は實に思ひ遣られます(喝采)又我々の最も不思議に思ふのは世間で妾や權妻といふ者を何とも思はぬことで御座ります男子は妾を蓄ふることを何とも思はず婦人も又人の妾となることを何とも思はず甚だしきは妾を置き妾となることを反て榮譽のやうに思ふ者が御座りますが此は實に心外千萬の事で御座ります(喝采)(未完)

● 叢話

○小說と演劇との關係（一）　　小中村清矩

左は學士會院の小中村君が東洋學會よ於て演述ありたるを手づから筆記し吾人へ惠贈ありたるもの也小說演劇の事共に女流に關係する所多く特に當今に必要の問題なれば茲に掲げて讀者に示す

かゝる演題を掲げたれば定めて珍奇の名說でも有るやうに聽衆の思はれんが夫なれば大違ひなり小生は不才なれば見解を立て議論をするなどの事は不得手にしてかの古事穿鑿が持まへイヤ病ひなれば小說なり演劇なりたゞ其古事來歷の大略を演ぶる迄にて决して當今流行の改良をはかるなどゝ云ふ面白き論說にてはあらず

偖小說は文章に綴るもの演劇は立はたらいて見せるもの丶差別あれど人の心を慰め面白がらせ樂しましむるは同じきなり然れども小說は文字上の事故其面白みも書物を覽る者に限り又作者も多少の學力を持たねばならぬが演劇の方は無學文盲の下等社會までもみる者なる故に作者も世間の流行を追ひ時好に應じねばならぬ此の少差が有ると思はるゝなり

元來維新の最初には小說は人の心術を亂り風俗に害ありなど云ふ上流に居る人の說も有て一向行はれず又演劇は維新前よりして專ら町人女子どもの見るものとして士分の者などは表向見物を憚るやうな風儀なりき又從前小說の作者と云ものは其中で泰斗と呼ばれたる馬琴や種彥でさへも傍ら狂歌師や川柳前句の點者などをして和漢の故事が入用の時は當時有名の雜學者喜多靜廬や村田了阿など云ふ博識のもとから買出して著述をした者故上等の學者の目からは何でもないやうに見下されて居たり。ましてや其次の京傳三馬などの輩に於ては狂言作者同樣に下等の人情を鑿事のみを專らとしたりしかば品行も劣り自ら人には尊ばれず有ました又演劇の俳優は河原者と呼ばれ穢多非人に同じき賤民の如く云ひ習はしたるにより天保中の老中水野越前守の改政の時今より必ず編笠を冠りて往來し通常の民とは區別するやうに申渡されたる事も有りて士は勿論、然るべき人とは交際も出來ぬ事でありたり然るに近年追々留學生又は洋行人の歸朝するに從つて小說と云ふものは天下の眞象と眞理とを能く探り得る美術にしてかの高尚の學問ある哲學の及ばざる所を識り得ると云ふトテツモない事になり演劇は猶さら其眞理を爲て見せるもの丶事故文筆の業にては及ばざる人情の極意を寫し出す眞正の美術なりと云

ふ事になり又西洋にては小説作者を非常に尊重し或は劇場へ禮服を着て見物に行くと云ふ風をも語り傳へ殊に近日の西洋學者は競つて小説を飜譯し又は著述に從事する事が盛になり劇場の俳優も編笠どころか勅任官の冠るやうな帽子を頂き玉の輿イヤ車に乘りありくと云ふはナント已前にくらべて見れば月鼈ほどの違ひにあらずや然りながら此れとはあちらこちらで若し西洋では小説や演劇はつまらぬ者で有つたならば此の二件は年々に衰へて此の廿年頃はさびれてしまうべきを世の風潮の滿ち干と云ふ者は面白きものなり

さて小説と演劇との内まづ小説の成立よりして來歴の次第を畧述せん但し夫には和漢洋小説の來歴を並び擧げて論じなば面白き事あらんが小生は西洋などは云ふに及ばず支那の小説とても明らめねば唯だ專門たる吾國の事のみを述ぶべしまづ吾國の上古の事跡を記したる書は皆昔話しで有るにより隨分小説めきし事あり其一つ二つを云はゞ神代に隱岐國に有ける一疋の兎が內地の方へ渡らんと思へど海を渡る事なり難かりしにより鰐の族悉く此海に來れ然らば我れ一つ二つと數へながら其上を蹈み渡らんはいかにと云しにより鰐其言の如くしたりしかば兎は欺き得て多くの鰐の上を蹈みつゝ因幡に渡り今地に下りんとする時實は詐欺ありと云しかば鰐ども怒りて兎の皮を皆剝ぎて去りければ痛甚だしくて伏し居りしに大已貴神通りかゝりて憫れと思はれ蒲黃を取りて地に散らし其上に輾轉させ療しゝ事あり又仁德天皇の時攝津の菟我野なる牡鹿牝鹿に語りて云ふ昨夜の夢に霜多く降りて我が身を覆ふと見つるは何の祥ならん牝鹿云くそれは出行く時人に射殺されて其身に塩をふりかけらるゝ應ならんと答へしよ果して牡鹿は獵人に獲られぬと云へり右は古事記日本紀の正史中に載せたる談ながら後世の子供だましの話によく似たり尤もかくの如き談の支那の古代にも往々みへたれば小説の始はいづくも古きものと見ゆ又我國に古く靈異記、感靈錄などいへる佛法の靈驗を記したる物の中には小説めきたる事も有れど此れは教法の一部分とも云ふべきものなれば性質異なるべしさて山城に遷都の後假名文章起りて物語りと云ふ書も始れり其中にて竹取物語は物語の出來始の親と源氏物語にも記し作者は詳からざれど文躰の古雅なるを思へは延喜以前のものなるべし其書の大意は竹取の翁と云ふ人竹の節の中より美麗なる少女を得て養ひたるに美人の聞こゑ高かりければ貴顯の人々思ひ懸けたりけれどなびかず後には帝王の召有るにも從ひ奉ら

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ずして八月十五夜大人の迎に應じて昇天しつる事を載せたるが是れは寶樓閣經と云ふ經説を基として作りたるものゝ由なれば當時流行の佛説によりかつは既に遊仙窟の類の支那の小説文も舶來して人々の翫びとなり居ればかた〳〵考へ合せて然る可き學者の始めて此の空中樓閣の談を起したるものと覺ゆ然りながら昇天などの奇事を趣向として人情に精しく渉らざるは我國にて先づ一部をなしたる小説物の始なる故ならん

(未完)

○批評　(第二十回)

(22)家庭教育　中本一册(百三十頁)定價上製四十錢並製二十七錢　發兌所　東京本町三丁目十七番地　金港堂

此書は小池民次高橋秀太の兩氏が編輯にて家庭教育の心得方を甚だ容易に説明ありたるものなり躰育の部に於ては專ら子供を自由に放任して活潑に育つべきことを敎へ智育の部に於ては子供の遊戯わるさも一々其智識を開發するに助あることを示して強て之を壓へざるべき由を敎へ德育の部に於ては所云る愛育なるものゝ効能を述べ且つ子供の良心を發達せしむべき心得を敎へて略ぼ殘す所なし引例の少しく足らざると大躰の摸樣子供に示す如き樣ありて母親に敎ゆるの句調に欠くるやうの心地すれども當今此類の書稀なる時に際し斯る良著あるを見るは眞に喜ぶべきことなり今其中の一節を左に抄出して此書の一斑を示し母親方の購讀をすゝむ

世間には子供のなき出すときそらワン〳〵が來た狐が來たといひ子供が少しく我儘をいふ時は灸すゑると云ひて一時のをどしを使へども實は犬や狐の來るにもあらず灸するにもあらざるなり是は聊の事なれどもいつとなしに子供に僞りをいふことを覺えさする道なり子供が之によりて僞りを言ふに至れば父母は又僞りをいふものは閻魔に舌を拔かるといひてをどすことあれど閻魔が人の舌を拔きしためしなければ此こども又僞りならずやある時は子供と約束して來る何日には某所の祭禮に連れ行くべし某所の町へ連れ行くべしといひ子供は悦びいさんで其時をまち居るに其日となれば父母は戯れにいひたるなりとて連れ行かず強て之をネダレば聞分けなしとて叱り付くる事あり嗚呼子供は一心に父母のいひたる約束を樂み其日の來るをまちかねたるに其樂みも水の泡となり其力を落すとは何程ぞ父母は只一時の方便にのみいひしまでにて子供を欺くの心は夢々あらずとも斯くの如きことの度かさなるときは子供はいつとなく父母のいふ事を實とせず又約束をまもらぬ僻付くものなり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

且力をれとすこと度々なるときはをのずから其心勇氣失せて成人の後も世の中の六ッケ敷わざにハ堪へざるに至るべし其時に至りて父母は始て我子の僞りをいひ約束にたがひ又惰弱にして勇氣なきに心付けどもはや遲くして間に合ふとなし又此場に至りて俄に之を改むることも容易に叶はざるなり左れバ子供を欺くの罪は大人を欺くの罪よりも重しといふべし故に父母は何事につけても眞實なるとをはなし其約束は必ず守り子供をして眞實を貴び心の勇氣をくじかせぬやうに心を用ふべきことなり

(23) 西洋娼妓事情　中本一册(八十二頁)定價二十五錢　發兌所　銀座四丁目　博聞社

此書は佛人ヅーシヤツテレー氏の著に據り横山訒君が抄譯なりたるものなり題して西洋と云へども實は只だ佛國の娼妓事情を述ぶるに過ぎず中に女主、自主娼、兵隊娘、石婦、等の有樣を記し尚ほ數多の言ふべからざる景況をも寫すと雖も原書は素と五十餘年前に成りたる者ならんが故に當今の事情に推して固より相違する所少からず卷末に至り譯者自ら論じて云く「娼妓の……功德は既に云へる如く男女の自然に戻る生計を營むを防ぐ……に外ならず故に娼妓ハ人民の深く感謝すべきものにして決して輕侮すべき者にあらず此等の婦女ハ後來必ず瓊報を享べし……世人若し娼妓を蔑視せバ其罪障は娼妓の罪業よりも大なるべし畢竟娼妓を卑下ならしむるは世人の彼を遇する自然に戻るに由れり故に娼妓を崇高するは唯之を愛敬するに在るのみ」と

讀去つて痛嘆の極にたへず世に如此き文字あるに至るを見て今の貴婦人諸子たるもの安んぞ奮ひ決する所なくして可ならん哉

●佳傳

○レビツト夫人の傳

ミス、ウイルラルド孃

去年万國婦人禁酒會の書記として全世界遊説の爲め我國に渡來ありたるマーリー、クレメント、リーピツト（通唱の儘茲にはレビツトと記す）夫人の傳此頃着のユニヲンシグナル新聞に見ゆ文は米國婦人禁酒會の會頭ウイルラルド孃が筆なれバ左に其儘を譯して兩貴婦人の相敬愛する趣を示す

夫人名はマーリー一千八百三十一年合衆國ニウハムプシア州ホプキントン府に生る父をジヨシユア、クレメントと云ふ基督教の傳教師なり夫人生れて幾干もなく一家ゼツフホルトのヴアルモント村に移住す夫人稍や長じて學校に入り第一級生

たるの比ろ父の俸給一家の生計に不足なるを以て傍ら父母を助けて家計の事を取る十六歳よして始て或る小學校の教師とあり夏は專ら此職を奉じ冬は去てゼッフホルドの中學校に入れり十八歳にしてボストン府の師範學校に入り有名なるレベッカ、ペンチル嬢及びルクレチア、クロッカー嬢エベン、ステールンス氏等に從ひ又教育家ホレース、マン女教師カザリーン、ビーチャー其後有名の幼稚園長となりたるエリサベス、ピーボヂー科學士ギヨット氏及びゼウジ、エマソン氏等につきて學ぶ所ありたり」夫人師範學校に入て後ち幾干もなくして其全科を卒へ卒業試驗には成績拔群にして大に名譽を博したり元來子弟を教育するとは夫人が尤も得意とする所なれば是より後ち二十六歳に至る迄は同府のクインシー中學校の教授とあり又ボッストン學校の助教長となりて專ら子弟の訓育に從事せり同年に至り同府の一商賈トーマス、リービット氏に嫁し後十年にして夫に別れ獨力を以て生計を營み自宅に子弟を集めて之に教授し以て三兒を養育して之に人生に必要ある獨立の事業を教へたり

夫人人となり無慾にして慈善の心深し其妹嘗て云へるとあり夫人は自ら節儉にして他人の爲に費すとを惜しまずこれ其の一生の性質なりと以て夫人の人と爲りを知るに足らん。夫人十五歳の時其父傳教師たるの故を以て父に洗禮の式を授けられ其教會の信徒たりしがボストン府に行てよりはカングレゲーション教會の信徒とはなれり

千八百八十年(明治十三年)に至り夫人はかの基督教婦人禁酒會の爲に專ら盡力せんとして其自宅教授を止めたり同八十五年七月リヴァモーア女史がユニチンシグナル雜誌中に投寄したる文章によりて之を見るに當時夫人は其教育事業を止めて專ら禁酒の事に盡力せんとを女史に謀られたるに女史は容易に之を決するあたはざりしが或教育集會に於て夫人が即席に爲したる演說を聽き其說の精密にして且つ力あり尙ほ能辨にして人を感服せしむるの勢あるを見て則ち夫人が謀られたる所の事に對し答ふべきものを即決し得たりと云へり

千八百七十七年(明治十年)妾が(ウイルラルド嬢の事)ボストン府に滯りてムーデー氏と共にレパイパルの事に盡力したる時每日正午に婦人集會を開きたるに際し妾を尤もあつく助けたまひたるの一人は即はち夫人あり當時妾は夫人が後來大事を爲すの人あるとを思考せり抑も夫人は沈靜にして明智あり心の情あつくして尙ほよく自ら制するの力あり眞にニウイン

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

グランド人たるの資格を甚よく示すものあり夫人の演說をきくに其敏慧ある眼眸と美にして且つ人を動すべき容貌は聽衆の注意を惹起すに足るべく其音聲は力ありて且つ優和あり演る所の說は一も時に要ならざるはあし故に夫人は常に云ふべき所の者を備ふるが如し特にその靈能及びキリストと國とに於ける感情は語々に力を與ふるあり斯て夫人は大抵一週に一度の禁酒演說を爲せり

夫人其後ボストン府基督敎婦人禁酒會の會頭となりしが又幾ばくもあく州內に遊說して輿論をして禁酒敎育の令を發せしむるとを贊成せしめんとし所々の師範學校敎員會並に敎育會等に行て演說したり又千八百八十二年(明治十五年)にルイスビルに開きたる集會に於てマッサチウセッツ州禁酒會頭リヴアモーア女史に代りて議長の席に就きたるが其事務に長じたる討論の際事に動ぜざるの風ありたるは妾等が感賞して止まざる所あり其後數ケ月にして妾がカリフホーニアに旅行したる時萬國婦人禁酒會を設くるの必要を強く感ぜしかば妾は書を夫人に送りて其の編成に盡力あらんを促し尙ほ妾に代りてサンドヰッチ島に趣き且つ全世界を週りて吾會の白標を以て地球の帶となさんとを勸めたり當時妾が夫人に送りたる書狀の大意は上述する如くにして尙ほ左の如き文辭を以て此の大事を行ふの全權を委任したるとを記臆せり曰く愛する所の姉妹よ君今ま燒落んとする橋の上に立つの運にあひて何處とも知らぬ地方を巡り一方には一錢の金あく他方には賴るべき招待もあき所に對ひて聖書に適ふべき禁酒の事を全世界に遊說さるゝと假定あし玉へ然らば空虛と見ゆる所にも信仰の足を踏み下して下には堅固なる石のあるとを見出し玉はん」と此時夫人は少かも勞せざる風にして之を諾したると恰も一時の祈禱會の主會を委任せられたる時の如くありき直にカリフホ

ーニア、チレゴン、ワシントン、等を巡り或は車に乘り或は馬車に乘して所々に遊說し吾會の主義を擴めたり然るに此等遠隔の地も今は既に代員を出してミンニアポリスの大會に集會せしむることあれり

夫人は次にサンド井ッチ島に至りてホイトチー夫人及び其他の熱心ある助者に萬國婦人禁酒會の事を說きたるに諸氏ハ夫人がアウストラリアに赴くべき入費凡そ四百弗を寄贈ありき

夫人は此島内に於て北メインより南フロリダに至りアルレガニー山より大西洋に至る間に均しき遠隔の地を巡り所々の都市に同盟を作りたれハ現今は夫人に代りて其足跡を踵ぐべき程の婦人の復び來らんことを切望するの有樣とあれり

夫人がアウストラリアに在るの間に妾は夫人の入費を助けんことを廣告したるに諸地方の同盟は甚だあつく之を贊成して殆んど三千弗を得たり夫人は悉皆之を落手すべきに係らず例の眞率にして且つ大氣ある性質を以て妾に書を送りて申さるゝハたゞ實際の入用のみを受あバ足れり殘餘は更に必要ある事業の爲に遣ひ拂ハれたしとあり蓋し夫人は至る所に於て厚待をうけ之に依て支給せらるゝあり特に日本の人々は尤も優にあいしらひ其諸新聞紙は夫人の事を所々に賞贊せり當今夫人は支那にあり最近の書狀其北京に赴かるゝの途中に於て認めたるものは之をヤングクルセーダー雜誌の初號に掲たり

夫人此土を去りてより既に四年あり萬國婦人禁酒會の事亦實際に行はるゝことありマルガレット、ブライト、ルーカス女史は其會頭となり曩に之が爲に洋を横りて此地に來られたり。アンデルッソン、メーゼルヘルム夫人はスカンジナビア婦人禁酒會の事業を創。チヤーロッテ、グレーはベルジウム及びス井ッルランドに。マーリー、ウイルラルドハゼルマニーに此主義を入れ。尙ほマルガレット、パーカーはサンド井ッチに航し又アウストラリアに渡らんとすると何れも皆な夫人の先導あるに依れり夫人は實に吾等の爲に備へられたる土地を發見したるの人也正午の報鳴て吾等に祈禱をすゝむるときは（萬國婦人禁酒會員は毎日正午に祈禱するを常とす）數多の母及び其子をして神が此の信實なる使を更に惠まれんことを祈禱すべきあり

● 寄書

本號には餘白なきに付當欄内の料を省く

And the man is himself, and the woman herself; that dream of love is over as everything else is over in life; as flowers and fury, as griefs and pleasures are over.　Thackeray.

●新報

宮庭錄事

○皇后宮御製の唱歌　左の唱歌ハ　皇后宮陛下の御製にして今度華族女學校へ御下附あらせられたるものあり

●金剛石も　みがゝずバ　珠の光りは　そはざらむ
人も學びて　のちにこそ　眞の徳ハ　あらはるれ
時計の針の　たえまなく　廻るが如く　ときのまの
日影惜みて　はげみあバ　奈ある業か　ならざらむ」

●水ハ　器に　したがひて　その樣々に　なりぬなり
人ハ交はる　ともにより　善に悪に　うつるなり
己れに優る　よきともを　撰び求めて　もろともに
心のこまに　むちうちて　學びの道に　すゝめかし

○工藝品共進會　府下上野に於て去廿五日より工藝品共進會を開かる出品一万八千六百七十餘種ある中に就て婦女子の手に成れるものも尠らず特に繪畫の如きは一覽して吾人の目に留めたる斗りにても凡そ三十八九人はありたり其他東京府のレース製造所の女生徒より出品したるもの又は方一尺に足らざる編物にて價の七八十圓するも見受け女子職業學校の生徒方が仕立たりと云ふ洋服類も亦た見事なるありき

○横濱フェリス女學校　は更に校舍を增築して生徒二百五十名を容るゝに足るものとし尚ほ當今傳道會社に附屬するを改めて自給獨立の學校と爲さんとて夙に其計畫あり去年校長ブース氏米國に歸省ありてよりは彼地に於て專ら其資金の準備に盡力せられたる由なるが去三十日着の報道に依れば此頃に至り遂に金一万二千弗の寄附を申受べき運びに至られたりとあり左れバ當夏同氏の歸校後は兼ての志を達するを得べしとて皆々慶賀し居らるゝ旨同校某女史より報ぜらる

○長老致派女學校合併の計畫　として本誌五十二號に掲載したる後一日も早く其成就せんことを希望し居りたるに種々の事情あるやの由にて到底成功覺束なく此頃に至りては依然元の儘に存せらるゝやう略ぼ決定ありぬときく遺憾至極の事と云ふべし

○女生徒に面會するに保證人の印を要す　府下の某と云へる大女學校に於ては外來の客が寄宿の生徒方と面會せんには其生徒の保證人が此者烏論の人物にあらざる旨の保證印を捺したる證紙を掛りの人に出さゞれば得會ふ可らずとの規則なる由と某氏より報道ありぬ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○米婦人の投書　米國フヒラデルフヒアの女子病院に居らるるマーリーロングストレス孃より遙かに吾が女學雜誌へ英文の投書を寄せられたり譯して次號に掲載し讀者の覽に供へて彼の孃の好意を謝すべし

○高崎女子の友　上州高崎に女子の友と云へる會を起し女學女德を振興するの目的にて月一回づゝ集り合ひ講談演說等を聽かるゝよし去三十一日ハ其發會に當れバとて編者の一遊を促越されたれども都合により客員瀧七三參會したれバ次の號に於て當日の景況を述ぶべし

○成立學舍女子部及婦人矯風會　成立學舍の女子部は昨日午後一時より開校式を行ハれ又婦人矯風會は數寄屋橋會堂に於て本日同刻より例會を開かるべし

○橫須賀通信　同地方にてハ昨今洋風非常に流行し海軍武官の夫人令孃及び醫師の夫人ハ悉く洋服に改め英學を勉强し居る中にも乳兒を乳母に托し置きて稽古に出掛け又ハ橫濱より洋服裁縫敎師(洋人)を聘し器械を購入して裁縫術を研究する等中々盛んなる有樣なり又婦人にて斯の如き奮發あれハ男子も猶豫すべきにあらずとて中牟田中將の率先にて洋語學校を設け英語學敎師にハ橫濱より米人ギユリク氏を聘し佛語學敎師にハ高山保綱氏に囑し常備艦の乘組士官へ敎授せしむる事とありたり云々

○新潟英和女學校　同校ハ追々贊成の有志者出來り寄附金も漸次其數を增加するに至りたれバ今月下旬にハ開校の運びに及ぶべき見込なりと依て發起人諸氏にハ去二十七日近藤書記官の邸に集會し諸般の事を相談したるよし新潟より通信

○三池婦人協會　筑後三池の同協會ハ創立日尙淺きも續々入會の令閨令孃多く最早百名に達せんとするの有樣なれバ日を逐ふて隆盛に赴くあるべし

○裁縫科增置　長崎の第一高等女兒小學校にてハ今度裁縫專修科を置き學齡外の兒女にして裁縫を專修せんと欲するものを敎授する事とあり其授業料ハ一ヶ月金十五錢と定めたり

○婦人の演說傍聽　大日本私立衞生會島根支會にてハ是迄每月通信衞生談話會あるものを開會せしが此頃に至り婦人の傍聽者多く止を得ず前會より席場ハ劃然男女に區別したりと又京都支會にても婦人の傍聽者割合に多く去二月の常集會の如きハ傍聽者四百餘名の中婦人二百二八前月の如きハ同三百餘人の內婦人百餘名なりしと

○婦人割烹會　京都にては尾越、谷口兩書記官の夫人を始め

紳士豪商の細君數名が申合せ去二十日午後三時より京都倶樂部に於て婦人割烹會と云ふを開き西洋の料理法並びに英語會話等をなせしが追々賛成の婦人あるを以て今度在東京の米人ケデー氏の夫人を聘して教師となし去る二十八日午後二時より京都倶樂部に於て總會を開き是が規則を定め且つ幹事をも撰定したりと尚詳しくハ次號に記すべし

○女紅塲　伊勢國鈴鹿郡龜山驛の貸座敷業ハ今度其筋の勸告により女紅塲を設置する由なれば近きに開塲に至るべしと

○裁縫專修所　信州北安曇郡北小谷村の内大綱と云ふ地ハ山又山の僻地にて女子の如きハ大抵幼少の頃より男子と共に勞力の事を執り裁縫抔を知るもの甚だ稀なる故一家の妻となりてハ自分の衣服だに繕ふ事能ハず往々不都合を感ずるより有志の人々ハ之を遺憾に思ひ今度協同して裁縫專修所と云ふを設け右等の婦人に教授せんとて其教員を聘せんため有志者の一人が此程松本町へ來りたりと去る二十七日發の松本便りにあり

○女子講學會　大坂東區内淡路町二丁目七番地へ今度新設せし女子講學會ハ專ら女子に學藝を教授するの目的にて毎日午後二時半より同九時迄英語會話、英漢數學、和洋裁縫、西洋編物、和洋禮式、抹茶、活花等を講習する由なり

○福岡婦人協會　同會の月例會ハ去月第三金曜日福岡材木町少林寺の客殿にて開會し客員大森治豐氏「姙娠の心得」神崎直三氏「婦人の地位」等の談話あり神吉秀成氏の寄贈に係る「婦人の心得趣意書」なるものハ理事生井峰子之を朗讀し又會員坂田マサチ子ハ「雪中梅」中の演題にて演說し午後六時頃閉會せり當日の出席會員ハ都合三十九名にてありし

○開智學校　信濃國長野町の開智學校にてハ目下教員の數五十餘名の多きも大槪男子にて女子ハ至つて少き故今度東京女子師範學校の卒業生を聘し尚現今の高等一級生なる女子を卒業の上授業生となし往々ハ之をも教員にせんと目下計畫中

○寄贈品縱覽　麻布鳥居坂の東洋英和女學校生徒より山梨縣甲府の婦人義捐會へ寄贈せし物品ハ去る廿四日午後三時より六時迄同地櫻町四丁目土屋彦六氏の宅にて縱覽を許せしと云

○女子に伴ふ男子　島根縣那賀郡跡市町の婦人中には近頃追々學問裁縫を勉勵するものある由にて同地の青年男子ハ婦人に負ざる樣にと夜學會なるものを起し英學を勉强し男女互ひに競爭の有樣なりと同地より來信の端に見ゆ

○仙臺英和女學校　仙臺の人首藤陸三氏ハ今度題號の如き學

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

校を同地東二番町柳町通りと北目町通りの間に新築せんと已に二千餘坪を買入しが尚千坪餘を買入至急建築に着手する由

○女禮式の講究　京都の皇族華族方の夫人にハ今度英國女禮式を講究せらるゝに付同地華族支館長より德大寺華族局長官へ其旨照會ありし處森文部大臣より各國女禮式の書物五卷を此程支館へ送付ありしを以て更に一名の敎師を雇ひ入れ土曜日毎に支館に於て講義を始め追々其禮式を授くる事に決定し來月第二の土曜日より實施さるゝ由

○私立三重女學校　伊勢國津の私立三重女學校にてハ追々校務の整頓するに從ひ授業上にも大に完全の法を設くるに至りしが此頃已に東京及び大坂等の各地へ注文せし裁縫器械ミシン等の到着せしに依りシャツ其他の縫物ハ勿論洋服の裁縫をも敎授することあり且傍ら西洋割烹法をも敎授さるゝ由にて生徒ハ交代して洋食を料理することとなりたりと

○婦人共益會　名古屋主税町三丁目の小室眞咲氏方にて去月十九日開きたる同會ハ來會の婦人夥しく小室氏安川辰三郎氏の理化試驗教育演說等ありて頗る盛んなりし由

○女紅場の試驗　三重縣津贄崎町の裁縫場にてハ去二十日同町藝娼妓の試驗を執行したるが今其詳細を記さんに抑も同裁縫場ハ昨年一月廿七日の創業に係り津警察前署長堀萬與氏の勸奬と同町取締人高士榮吾氏の盡力にて稍く式計りの裁縫場を設立し習字讀本にハ宮下安子、裁縫にハ田中富子、算術にハ高士榮吾氏が敎師となり藝娼妓一百餘名を敎授せしに追々上達の者も出來し其後又々當署長八尾信夫氏の勸奬もありて完全なる女紅場と言ふ程にハ至らざるも終に今回各藝娼妓の學力を試驗するの場合に至りしものにて其試驗法ハ習字、作文、書取、讀書、講義、問答、算術の七課とし各課目毎に二十點を滿點と定め總點數五十點以下を落第とし尚平素出席數の多きと優等を併せ是を最優等とせしものにて全員百餘名の內受驗者三十三名を甲乙丙の三等に分ちしが何れも上出來にて一人の落第者なく最優等點を占めたる者五名、賞品(半紙二折外に白縮緬に書畫ある服紗)を得たる者十三名ありて午前十一時頃より試驗に着手し免狀及び賞品施與式の終りしハ午後十一時頃にてありし夫より右生徒の製せし裁縫品五十九種を陳列せしが是又何れも立派に裁縫しありたり偖最後ニ至り當日臨席の八尾警察署長が一場の演說をなし本日の好結果を賞し尚將來を勸奬せしに敎師宮下安子ハ左の和歌を以て答詞に代へられたりと同地よりの通信

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

けふの有難さにとりあへす總代によめる

おほけなや數ならぬ身を斯はかり惠も深き御代のうれしき

大君のめぐみ遍くてる月にとざゝぬ御代のひかりをぞみる

○寄附　三州豐橋分營詰の兒島軍醫には同地藝娼妓手藝學校の改良を贊成して我社發兌の女學雜誌を一ヶ年分同校へ寄附されたり

○神戸幼稚園　同園設立委員内海夫人、山川夫人を初め其他の諸氏には去る二十三日の夜同委員佐畑信之氏の宅にて設立上の事に付き相談會を開きたりと又同會の設立を贊成して有志者より申込みたる寄附金は已に二千七百圓餘に達し尚續々と申込みありと云ふ

○産婆改良　福岡縣に於ては諸般の業漸次進歩するに拘はらす獨り産婆は依然舊習を固守し弊害も亦隨つて多く毫も改良進歩の狀況を見す是れ畢竟營業者が無識の婦女なるに因るものにして其改良の道も亦容易ならす且つ該業者の衛生上に關係わる實に重大なるを以て今回本縣に於て之が教授に必要なる書册を編纂し一千五百部を印刷して各郡に配付し尚ほ販賣の道を開きて將來の教授書となし且從來開業の者は一郡區を數組に分ち組合を設け集會をなさしめ産科醫の適當なる者を會頭となし右の書册を以て教授せしめ郡區衛生主任は勿論衛生課員も時々臨席することとなし已に各郡に於て集會を開きしに各々實着に研究するの志想を興せし狀況あれば以後は漸次改良の緒に就くべし（福岡縣報告）

○若年婦女保護の條約　去る一月二十五日附在和蘭公使館の報告に據れば此度和蘭白耳義兩國間に於ては若年婦女（但し妻籍にあるものと未成年の少女に限る）の其本意に悖り娼業の目的を以て此國より彼國に拐賣送致せらるゝ者を保護するため左の條約を締結せり（外務省報告）

第一條　和蘭及び白耳義兩政府は本人の心意に逆ひ娼妓たらしむるの目的を以て右兩國中の一國に送致せられたる婦女親ら本件に付き歎訴する歟或ひは法律上右婦女の監督者より歎訴をなすときは之を其所屬國に送還することを約す

第二條　右既婚婦若くは丁年未滿の少女を其本國に送還する前、地方廳は其送還の時日及び場所を其親戚に通告すべし（以上二件本年三月二十八日官報）

○婦人の敵　墺都維也納府にては婦女子を抑へんとする男子多しと見え頃日「婦人の敵」と題する新聞紙を發兌せんとて其

廣告を出したり今其目的を聞くに傀儡同然たる婦人の羈軛を脱せしむるに在りと云へり

○佛國女學の現況　去る一月廿四日佛國代議院に開きたる文部省經費豫算會議に於て文部大臣ベルトロー氏ハ佛國學事現況說明書を朗讀し大いに代議院の喝采を博したり今其中女子に關する要領を記さんに今日中學教育を受くる女子の數ハ中學校の生徒五千人、中學科の生徒四千六百人合計九千六百人にて實に共和國に於て創立せし事業の中最も重だちたるものゝ一なり蓋し女子をして眞に近世の教育を受けしむるハ他日共和、學術の思想を以て其兒等を教育せしむるの必要なるに出でたり云々(事實は本年三月廿八日の官報に據る)

○孛漏生國女子の牽束　本年一月一日の倫敦經濟雜誌を見るに伯林に於ては政府の命を以て二箇の婦人組合を解散せり此等の組合は素と力役女子の利益を增進するの目的を以て設立せる者なれども其實ソシャル、デモクラット黨の機關なると發覺せるに付き法庭に於てハ審理の末總て婦人ハ政治に關し又は政事を談議する組合に入るへからずとの理由に基き解散せしむることゝなせりと云ふ(國家學會雜誌第一號)

○女雇人　コウラント新聞に云く紐育市の大店に雇れるゝ娘は合して一万二千人ありブルックリンにても亦た主なる店頭に二千六百人の賣手あり何れも一週に三弗乃至八弗の給料を受ると云ふ

○撰擧票　同新聞に云く此前回のワシントン領の撰擧には四万八千の撰擧票ありたるうち一万五千は婦女の手より投じたるものなりきと

○男女文躰を同一にする方法　東京茗渓會雜誌第五十號即三月廿日發兌の分に同會より教育會へ答へたる右方法の對策あり第一章に文章の大要、第二章に男女文章を異にせし原因を論じて第一項男子の書簡文に於ける原因、第二項女子の書簡文に於ける原因、第三項男女の文躰に於ける利害を分說し、第三章に諸官衙の公文、第四章に學校教育を論じて第一項普通教育に於て書簡文の授業困難なる事、第二項教授上不經濟なる事、第三項一種の新文躰を作らざる可らず、第四項學習院及び華族女學校、第五項師範學校、第六項女學校と分說し、第五章に社會全般に關する事情を論じて第一項女子の職業、第二項男女の交際、第三項男子の好尚を分說し、第六章に結論さる

○女學雜誌の評　在獨逸醫學士河本重次郎氏が報告とて同前の雜誌に見ゆる中に云く兎に角女學雜誌なぞは成る丈け內外の文飾を調理することに注意ありたきものなり當地にて中等以下に至ては無茶苦茶の無文なり別に日本の女子と異る所なし小生の考には女學雜誌には小說、歷史、書評、彫刻物の評、生理、地理等種々の事物より種を取り入るゝに如かず」と尤もの評なれども當今女流の伸張に多事なるの時吾人の志を知るものは本誌の兎角に無味淡泊に失するの弊を恕するものあらん

○歌の論　三月廿日發兌の東洋學會雜誌第四號には萩野由之氏の歌の論あり先ず歌が王政を亂りたる事、歌を以て朝紳を愚にせんとしたる政略、等を論じて後ち歌の題、格、調、材、等を說かる新論にして甚だ面白く覺ゆ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

社告

女學雜誌社

第四回點取文題

日本婦人歎

右は日本當今の婦女が蒙る數多の束縛、困苦、不自由、等を數へ成るべく實際の儀を文章につゞりたる應答を要するものにて答文は來る三月十日迄に本社に寄送あらんことを乞ふ右日限後に到着するものは乍遺憾點撿の中に收めず且つ答文は審査の上優劣を定め甲乙丙の三點を得る者には各定の賞酬を呈す

◎通信女學規則

當今女子教育の論甚だ隆盛となりて各地の女學校は日に日に其數を加へ茲に就て學文する女子も亦た月々に多くなれり此模樣にて行けば今四五年の內には女學の進歩非常にてさぞかし男子にも劣らざる有爲の女流を多く出さんは勿論婦人一汎の有樣も必ず一變して今の如き交際にては事足らざるに至るべし故に今日に於て尙ほ學文せざる貴孃方は一日も早く學校に入りて一と通りの修學を爲し決して時勢に後れざる樣に勉めらるべし之れ甚だ大切の事なり然るに既に一家の妻となりて家事向万端を取扱ひ居るゝ方々は固より學校へ通ひ得べき餘暇もなく又ゆる〳〵と讀書さるべき便利も少かるべければ此樣の人々が別に學文さるゝ方法なかるべからず抑も一家を修るには家內衛生、家內經濟の事を初めとして母親たるの覺悟、育兒の心得などは是非とも學び置かでは相成らず特に世運々開化して交際の有樣も變化する今日に當りては文學理學の一斑より歷史地理の大畧及び西洋女禮式の一と通りを承知せざればかゝる辱を受ることあらん故に此度かゝる妻君母親たちの都合を計りて通信女學と申す仕組を設け家內に居ながら少々づゝの餘暇を親みて學文さるゝやうの法方を備へ凡そ一年にて女學の荒增を覺へ二年にて其大略を學び三年にて恥かしからぬ程の學力を得さするやう教授すべし

一　月々中本六十頁以上の講義錄一冊を出版する事

二　右講義錄には女子生理、家內衛生、家內經濟、万國史略、文學一斑、理學一斑、西洋女禮等の諸科を講述し且つ問答叢話の一欄を置きて右講述の上に付き質疑を寄せたる人々に應答し又婦女學文の心得其外諸般の有益なる事件をも書載すべし。尤も右諸科講述の終るを待ち漸次に尙ほ更に高尙なる學課を教授すべき事

三　右講義錄は平假名交りの平易なる文章にて記し尙ほ假名を振るべきに付何人にも容易く讀み得らるべし且つ了解しがたき事件ある時は郵券二錢を封入して質問を寄するときは早速に應答し尙ほ其問答の人に示して益ある分は講義錄中の問答叢話の欄內に記載する事

四　右講義錄一冊の定價を二十錢とし全國何の地にも郵送税を要せず配達すべし而して半年分の前金は壹圓一年分の前金は二圓とすれ其以下の小賣は悉く定價を要し尙ほ一冊にても前金を領收せざる內は配達せざる事

右四月五日初號發兌の筈の處印刷上の都合により來十日迄延引す

東京日吉町八番地

女學雜誌社

廣告

◎速記法講究叢書講談 演說集 第四冊第五冊 出版

定價郵税共特別割引壹冊ニ付十四錢(郵券代用妨げなし)

第四冊 ◎人類的の慾をして動物的の慾を制せしむべし
元老院議官加藤弘之君◎飲酒より生ずる弊害
を調査するの方法を論ず 杉亨二君◎神學卒業生の心得 米
國博士ツルベッキ君◎日本小説改良論 法學士關直彦君●政
行法大意第一回內務省參事官宇川盛三郎君

第五冊 ◎學問と宗教との極點を論ず 文科大學講師原
川出君◎飲酒の害 元老院議官中村正直君●我
日本帝國人民の將來を前知するの說及其方法 杉亨二君○基
[illegible]教と婦人の地位 井深梶之助君◎行政法大意第二回內務省
參事官宇川盛三郎君◎雜記○日本の演說討論○速記術に關す
る各地方の通信○完全なる速記學校○筆記讀上會

(附錄)第一冊 初版賣切候に付久しく御求めに應じ難かりし處過般再版出來仕候に付併せて御注文奉願候(定價郵税共特別割引十四錢)

發賣 ◎東京日本橋通三丁目丸善書店 ◎東京本町三丁目瑞穗屋 ◎東京馬喰町二丁目石川治兵衛 ◎東京神田淡路町畿々堂

遞信省認可

七條峯太郞編輯
女子必携
女子作文楷梯
精刻木板女子必携全壹冊定價金廿二錢郵稅半額四錢郵券代用す
鼇頭作文要用字類

從前小學校の生徒に文を敎ゆる男女一樣あるが爲めに不都合多きは敎育家の常に患ふる所也然れ共女子作文を敎ゆる好書なきが爲めに只た患ふるのみにて之を濟ふ能はず今此書は專ら女生徒に婉曲にして通じ易き作文を敎へ男生徒一樣の不都合なきことを計る爲に編著せるものにて作文獨稽古と共に小學敎員及び生徒諸君の錦囊たる書なり
從吾軒田中參先生編著

女學讀本
一名女大學
精刻木板全壹冊定價金廿二錢郵稅前同斷郵券代用す
附錄譯語箋

近來女子の敎育漸く開け之を敎ゆるの書も少なからず然れ共大抵一方に偏して日本の事情に適せず田中先生之を憂ひ東西を折衷し古今を參合して此書を編す卷中は德、容、言、工、事夫、敎子、守節、誠、の八章に分ち婦女一生の寶鑑たるは勿論小中女學校の敎課書に最も適當なるべし

東京三十間堀壹丁目
九春堂敬白

六合雜誌
第七十五號
一冊十錢無郵稅。毎月一冊發兌
東京瀧山町六番地 警醒社

近時佛敎論(植村正久)日本言語及文字論其二(高橋吾郞)哲學の目的及範圍(森田九万人)思想論(浮田知民)○ガスタバス、アドルフアス○雜錄。昨年間學術の進步、米國大學の宗敎
米國ケレー氏著○巖本善治君譯

女之未來
定價 三十錢 (新版)

近頃婦人論盛んなるよ付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきことあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有樣より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進步すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町
輿論社
(大取次) 女學雜誌社

發兌					
三月。	五日	十二日	十九日	廿六日	
四月。	二日	九日	十六日	廿三日	三十日
五月。	七日	十四日	廿一日	廿八日	
六月。	四日	十一日	十八日	廿五日	

定價				
一冊。	五錢	郵稅。一錢	(但府內無郵稅)	
十冊。	四十八錢	郵稅。十錢	(同前)	
半年分	一圓十七錢	府外は	一圓四十三錢	
一年分	二圓卅四錢	府外は	二圓八十六錢	

廣告

特別廣告は婦女に關する協會會合等の記錄を掲ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を掲する者に右雜誌十部の注文を要し以上半頁分毎に十部附の割合と定む

一行 一回 前金拾錢 (廿七字詰)
同 三回以上 一割引
同 六回以上 二割引
十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絶す有益なる事物の廣告は本社評議の上無代價にて引受く女學に關係ある書籍は一部寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町畿々堂○東京芝西久保櫻川町萬春堂○東京神田區雉子町鬪々社支店○同神田區佐柄木町東海堂○同日本橋區新乾町良明堂○同京橋區木挽町壹丁目萬字堂○同本鄕區元富士町盛春堂○同本鄕區春木町二丁目解明堂東京本鄕四丁目文壽堂○橫濱吉町角田屋貞○京都四條通小橋へ入澤集光堂○同三條通東洞院西へ入クリスチアンボード○大坂備後町四丁目岡島支店○仙臺國分町十五番地伊勢安雜誌部○宮城縣仙臺大町木村文助○尾張國名古屋本町石版舍○出雲國松江新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號○江州彥根西內大工町新々堂○相州小田原綠町石壽堂○上州高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

發行所
本局 東京京橋區日吉町八番地
女學雜誌社
持主兼編輯 巖本善治
印刷 森田豐

WOMEN'S MAGAZINE.
"JOGAKU ZASSHI."
Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.86 per annum, in advance.
Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8 HIYOSHICHŌ, SHINBASHI, Tôkyô, Japan.

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

女之未來

定價 三十錢
（新版）

近頃婦人論盛んなるに付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきとあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有様より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進歩すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町 輿論社（大阪次） 女學雜誌社

新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號
○江州彦根西内大工町新々堂○相州小田原緑町石壽堂○上州
高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

發行所 東京京橋區日吉町八番地
本局 女學雜誌社
持主兼編輯 巖本善治
印刷 森田豐

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

七條峯太郎編輯

女子必携 **女子作文楷梯** 精刻木板女子必携全壹冊定價金廿二錢郵税半額四錢郵券代用す

鼇頭作文要用字類

従前小學校の生徒に文を教ゆる男女一様あるが為めに不都合多きハ教育家の常に患ふる所也然れ共女子作文を教ゆる好書なきが為めに只た患ふるのみにて之を濟ふ能いず今此書ハ專ら女生徒に婉曲にして通じ易き作文を教へ男生徒一様の不都合なきことを計る為に編著せるものにて作文獨稽古と共に小學教員及び生徒諸君の錦囊たる書あり

従吾軒田中參先生編著

女學讀本 一名女大學 附録譯語箋 精刻木板全壹冊定價金廿二錢 郵税前同斷郵券代用す

近來女子の教育漸く開け之を教ゆるの書も少なからず然れ共大抵一方に偏して日本の事情に適せず田中先生之を憂ひ東西を折衷し古今を參合して此書を編す卷中ハ德、容、言、工、事夫、教子、守節、誠、の八章に分ち婦女一生の寶鑑たるハ勿論小中女學校の教課書に最も適當あるべし

東京三十間堀壹丁目 **九春堂敬白**

六合雜誌 第七十五號 一冊十錢無郵税。每月一冊發兌 東京瀧山町六番地 警醒社

近時佛教論(植村正久)日本言語及文字論其二(高橋吾郎)哲學の目的及範圍(森田九万人)思想論(浮田知民)○ガスタバス、アドルフアス○雜錄。昨年間學術の進歩、米國大學の宗教 米國ケレー氏著○巖本善治君譯

女之未來 定價三十錢 (新版)

近頃婦人論盛んなるよ付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきとあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有様より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進歩すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町 **輿論社** (大取次) 女學雜誌社

發兌	定價	廣告
三月。五日 十二日 十九日 廿六日 四月。二日 九日 十六日 廿三日 三十日 五月。七日 十四日 廿一日 廿八日 六月。四日 十一日 十八日 廿五日	一冊。五錢 郵税。一錢(但府內無郵税) 十冊。四十八錢郵税。十錢(同前) 半年分 一圓十七錢 府外は 一圓四十三錢 一年分 二圓卅四錢 府外は 二圓八十六錢	特別廣告は婦女に關する協會會合等の記錄を掲ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を掲する物に右雜誌十部の注文を要し以上半頁分毎に十部附の割合と定む 一行 一回 前金拾錢(廿七字詰) 同 三回以上 一割引 同 六回以上 二割引 十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絶す女學に有益なる事物の廣告は社説の上無代價にて引受く女學に關係ある書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

WOMEN'S MAGAZINE.

"JOGAKU ZASSHI."

Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.83 per annum, in advance.

Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8B HIYOSHICHŌ, SHINBASHI, Tôkyô, Japan.

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町畿々堂○東京芝西久保櫻川町萬春堂○東京神田區雉子町開々社支店○同神田區佐柄木町東海堂○同日本橋區新乾町良明堂○同京橋區木挽町壹丁目萬字堂○同本郷區元富士町盛春堂○同本郷區春木町二丁目解明堂○東京本郷四丁目文壽堂○横濱住吉町角田屋貞○京都四條通小橋東入澤集光堂○同三條通東洞院西へ入クリスチアンボードー○大坂備後町四丁目岡島支店○仙臺國分町十五番地伊勢安雜誌部○宮城縣仙臺大町木村文助○尾張國名古屋本町石版舍○出雲國松江新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號○江州彥根西内大工町新々堂○相州小田原緑町石壽堂○上州高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

發行所 本局 東京京橋區日吉町八番地 **女學雜誌社**

持主兼編輯 巖本善治

印刷 森田豐